

第 53 回 埼玉県医学検査学会の御礼

学会長 瀧沢 義教

謹んで新春のお慶びを申し上げます。令和 8 年の幕開けにあたり、皆さまが健やかに新春を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。平素より本学会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る令和 7 年 12 月 7 日(日)、ソニックシティにて開催いたしました「第 53 回埼玉県医学検査学会」に際しましては、皆さまより温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。当日は幸いにも晴天に恵まれ、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行が懸念される中ではありましたが、臨床検査技師会員、理事、研究班班員、技師会事務所職員、賛助会員、そして当日の運営にご尽力いただいた実務委員の皆さまのお力添えにより、一般市民の方々を含む約 1,295 名ものご参加をいただき、盛会のうちに無事終了することができました。演題数は 100 題に達し、活発な学術交流の場となりましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

一方で、提出書類の不備や特集号における記載ミスなど、運営上の不手際により関係各位にはご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。そのような中にあっても、皆さまより寛容なご理解を賜りましたことに、重ねて御礼申し上げます。

また、長きにわたりご尽力くださいました実行委員の皆さま、ならびに学会担当理事の皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。

今回の学会テーマ「Hop Step Jump ～飛躍する未来に向けて、今学ぼう～」のもと、ご参加いただいた皆さまお一人おひとりが未来に向けた学びを深め、次の一歩を踏み出すきっかけとなっておりましたら幸いに存じます。

略儀ながら書中をもちまして、第 53 回埼玉県医学検査学会終了のご報告と御礼とさせていただきます。早々に第 54 回実行委員へとバトンを引き継ぎ、さらなる発展を目指してまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

第 53 回 埼玉県医学検査学会を振り返って

実行委員長 野本 隆之

第 53 回埼玉県医学検査学会にご参加いただきました、すべての皆様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。学会長からのご報告の通り、盛会のうちに幕を閉じることが出来ました。

今学会も様々な苦労話や反省がございました。企画を盛り込みすぎて、例年よりも早く受付を開かなければならなかったものの、会場の使用制限もありギリギリでした。何度も思案して作成したプログラムでしたが、会場によっては人が

溢れてしまう状態に、当日の人の流れは読みづらいものの、学生の動きに関しては学校の先生と打ち合わせ可能だったかなと思いました。また市民公開において「伊奈学園の公演が無料で見れるなんてすごい」というお声を多数いただきました。伊奈学園の公演と検査技師の職業紹介もあることから、今回はじめて中学生の参加を促すため教育委員会から中学校への配架を行いました。なんと学会当日に北辰テストとのこと、痛恨です！まあ、挙げればきりがなくいろいろなことがございましたが、ご参加いただいた市民の方から感謝の手紙や差し入れなどいただき、全ての苦勞が報われた思いでした。

慰勞会での実行委員の晴れ晴れしい笑顔が、今回の学会が一人一人にとってとても価値ある経験の連続だったのではないかと思います。この貴重な経験を漏れなく次につないでいければと思います。

これからも医学検査学会へのご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

